

授業科目	北九州の過去・現在・未来				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	CH10601J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	戸田 由美							
授業概要	<p>平成という一つの節目を終え、今年から新たな歴史を迎えようとしている日本です。北九州もそのうねりのなかで生き続けた尊い歴史があります。街が語る足跡には必ず文化が生まれ、現代社会との共生を余儀なくされる葛藤がある今、どんな課題を抱えているのでしょうか。</p> <p>一方、北九州市は政令都市として、また「日本一子育てしやすい」都市といわれています。北九州市には元気な地方都市であるために、地域の様々な場で活躍された方々がいらっしゃいます。そうした北九州市に深い思いを抱き続けている方々に、外部講師として様々な視点から北九州市について語っていただきます。</p> <p>この授業は、北九州の過去を知り、現在を理解し、これからの未来を学生の皆さんと一緒に考えていく内容です。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1、自分で自分の生き方について考えることができる。</p> <p>2、北九州市の歴史を鑑み、更なる発展へと導くことができる。</p> <p>3、地域・社会で活躍する人たちと共に、北九州の成長を理解できる。</p> <p>4、講義内容を聴き取り、レポートとしてまとめることができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	10	40	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			50				50	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)				10			10	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)					40		40	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
テーマに基づき、講義内容に加え、積極的に課題に取り組むことができる。 独創的な意見を、根拠を示して説明することができる。				講義の内容の意味を理解し、適切な表現で課題をまとめることができる。 テーマに基づき、自らの意見、感想を述べるすることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	テーマ;オリエンテーション 本講義の目的と授業の進め方、達成の目安、評価方			講義	講義の概要について理解する。		20	

	法等について 解説する。(戸田)			
2	テーマ;北九州のこれまでの歴史を振り返る (外部講師;新聞社北九州支局)	講義	講義の概要について理解する。	30
3	テーマ;北九州今—地域を元気にする人たち(1) (外部講師;地元企業関係者)	講義	講義の概要について理解する。	30
4	テーマ;北九州の今—地域を元気にする人たち(2) (外部講師;商店街活性化に関わる方)	講義	講義の概要について理解する。	30
5	テーマ;北九州の今— 地域を元気にする人たち (3) (外部講師;地元企業・商店街関係者)	講義	講義の概要について理解する。	30
6	テーマ;北九州の今—地域を元気にする人たち(4) (外部講師;新聞社北九州支局)	講義	講義の概要について理解する。	30
7	テーマ;北九州のこれからの未来—元気な地方都市へ (外部講師;行政関係者、地域づくり関係者)	講義	講義の概要について理解する。	30
8	テーマ;まとめ これまでの講義を振り返り、まとめる。	講義	講義の概要について理解する。	30
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	初回の授業(オリエンテーション)で、講義全体の概要を説明する。			
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて紹介される。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	レポートは必ず期限までに取り組むこと。			
達成度評価に関するコメント	出席重視する。積極的受講態度がのぞましい。			